



キャセイパシフィック、2014 年度上期収益、僅かに改善＝拡大には運賃の割引が必要だった

14-Aug-2014 11:35 AM

キャセイパシフィック・グループは、収益の改善を報告したが、営業利益率は貧弱な 2.1%から、弱々しい 3.1%に上昇したに過ぎない。今後の見通しは、キャセイが、「2016 年 2 月に A350 が納入されて、コストを削減してくれる」、「間もなくやってくる香港空港の滑走路の飽和状態が競合社との直接対決を制限してくれる」と言った、概して時間頼みの状態であるため、相変わらず、抑制的なものである。それでも尚、市場での競争はより激しくなり、キャセイは北アジアの地域を、昔に比べより良いブランドを持った、より多くのエアラインと分け合うことになるだろう。

キャセイは ASK で 5.4%の伸びを記録できたが、これは 3.5%落ちた利益を犠牲にしたものだ。キャセイの最大の市場である北米では利益が 4.4%下落して居り、この供給過剰の市場では、更に状況が悪化し、多分、2015 年に入って、かなりの時期まで続きそうだ。唯一、欧州だけが供給、搭乗率、そして利益の全項目で改善を見せている。貨物事業は相変わらず問題であり、キャセイは旅客機のベリー（貨物室）で貨物専用機とほぼ同じ量の貨物を運んでいる事から、専用機の意味が薄れている。

コストの増大も問題であるが、キャセイはジェットスター・香港に関しては、会長のジョン・スローサーが繰り返し、曖昧な声明で、ジェットスターは代償として、明言されない利益（豪州との 2 国間協議への道か？）を諦めない限り、香港の運輸権を自由に行使できないと述べているけれど、余り気にしなくて済むようになっている。

それでも、キャセイはこの豪州にとって第 3 の規模を持つ市場で、客室の高密度化と機材の大型化で拡大を続けようとしている。

[Cathay Pacific 1H2014 profit: slightly improved as growth has required fare discounting](#)



セブパシフィック、長距離LCC(第2部) = 5都市を追加して、拡大の新時代をスタート

14-Aug-2014 10:00 AM

フィリピンの低コストエアラインであるセブパシフィックは向こう6ヶ月間で、目的地を1地点から6地点に増やし、長距離路線網の拡大を計画して居る。

既に発表された、シドニーとクウェートに加え、同社はサウジアラビアのダンマームとリヤド線の開設の日取り、航空券発売日を決めようとして居る。

また、同社は2015年の初頭にはホノルル線の開設を目論んで居り、一方、シャールジャ(アラブ首長国連邦)への路線開設を可能にするように、運輸権を確保しようと努力して居る。セブパシフィックは既にドバイに飛んでいるが、当初の極端に落胆させる搭乗実績から、最近は比較的良い成績を上げている。

来るべき路線網の拡大はセブパシフィックの長距離路線部門にとって、これ迄に無い、最大の挑戦になるだろう。最初の14ヶ月間は、A330-300を使って主に域内国際線を運航している。

[Cebu Pacific long-haul low-cost part 2: new period of growth begins as five destinations are added](#)



スピリット航空、付帯サービスの変動料金制に第一歩＝供給の拡大が衰えず続く中で

13-Aug-2014 3:12 PM

米国の超低コストエアラインであるスピリット航空は、付帯サービスからの収入管理手法に、より洗練されたものを導入する計画の第 1 歩をスタートさせた。このビジネスモデルの基本は、運賃からの収入と、機内持ち込みや預託手荷物、そして座席指定などの付帯的なサービスからの収入の双方を併せて、極大化を図るところにある。

フォートローダゲールを本拠地とするスピリット航空は、2014 年第 2 四半期に、付帯的サービス料金の極大化を図る中で、ピーク帯の手荷物料金の初歩的な変動料金制を導入した。同社は以前、航空券販売以外の収入が将来は全体の 50%を占める様になると予想していると述べていたが、現在では、これは、過去数年の付帯サービス収入の拡大を見ると、もっと増加する事になるだろうと結論付けている。

スピリット航空は、2015 年には概ね 30%の供給拡大を計画して居り、急成長期へと準備を整えている。この拡大は、成熟した米国の市場にとっては、過大と見えるかもしれないが、スピリットは繰り返し、この野心的な目標達成を助ける様な刺激的需要が充分にあると太鼓判を押している。

[Spirit Airlines takes first steps of ancillary dynamic pricing as supply growth continues unabated](#)



セブパシフィック(第 1 部):通過旅客を取り込み長距離 LCC をハイブリッド化=シドニー・北アジア線を手始めに

13-Aug-2014 3:08 PM

セブパシフィック航空の長距離路線部門は、拡大の新しい局面に入ろうとして居る、と同時にこれ迄より多くの通過需要を取り込んで、進化しようとして居る。

同社は最初、長距離低コスト部門を、地点間単純往復需要に殆ど全て依存した純粋な LCC モデルで考えて居たが、今や、特に新たに開設した、マニラ=シドニー路線を埋めることを考え、乗り継ぎ利便性をはかろうとして居る。

2014 年 9 月、シドニーとクウェートが、同社の第 2、第 3 の長距離路線目的地になるが、2013 年第 4 四半期に惨めなスタートを切ってからこの数ヶ月、改善を見せて居るドバイに次ぐ寄港地である。同社の A330 保有機材は現在 4 機で、2014 年 8 月末に 5 機目が追加予定だが、これ迄は、近距離路線の大型化に使われて来た。

間もなく予定されて居る豪州とクウェート線に次いで 2014 年第 4 四半期にはサウジアラビア線と 2015 年初頭にはハワイ線が計画されて居る。また同社は A330 をリースで追加する事を検討中で、2015 年にはシャールジャ(アラブ首長国連邦)線の開設も考えられる。

[Cebu Pacific long-haul LCC hybridises by pursuing transit traffic, starting with Sydney-North Asia](#)



ANA、黒字回復、国際線で 25%の成長＝航空輸送以外の事業が貢献

11-Aug-2014 1:05 PM

ANA ホールディングスが、2014 年 6 月 30 日までの 2014 年度第 1 四半期で黒字を回復した。旗艦事業である航空輸送では、損失を圧縮したものの引き続き赤字である、しかし、この見方は不完全で、事業分野間のやり取りで、極めて収益率の高い他の事業に収入が移転されているのだ。どの分野に金が動いたかに関わらず、話は ANA の航空輸送分野、それも国際線事業の問題である。国際線の ASK は主として羽田屋間帯の新発着枠のお陰で拡大しているが、これは国内線 ASK より国際線を、より多く運営するという方向に向かおうとしている ANA のテーマに沿って居る。

ANA の状況は順調だが、最近の需要に先立って、供給を拡大していることを始め、幾つか改善の余地がある；ASK の伸び 25.2%は、RPK の伸び 21.7%より大きかった。この供給拡大が、ANA を国際線で JAL を抜くまでに、大きくしたのだが、同時に欧州線の搭乗率では、5 ポイント近く下降させている。国際線全路線平均の 69%の搭乗率は未だ改善の余地がある。ANA の中核であり、大きな利益の源である国内線市場は、嬉しくない競争の圧力を受け、ASK を 0.5%下げ一方、安売りをして、RPK を 3.5%上げる結果になった。国内線の搭乗率は 2.2 ポイント上がったのだが、未だに 59.2%という低い数字だ。

[All Nippon Airways, due to non-flying businesses, returns to black with 25% international growth](#)



エティハドとアリタリア、提携の内容に合意し確定＝保護主義者の声が強まるだろう

9-Aug-2014 11:59 PM

2014 年 8 月 8 日、エティハド航空が5億 6,000 万ユーロを投資して、アリタリアの 49%の株を保有する事を両社が発表し、アリタリアはついに、エティハド航空の資本同盟の第8番目のメンバーになる事となった。この投資は、他の投資家からの資金注入や、その他の資金、借金などを併せて、18 億ユーロを混迷するアリタリアに注ぎ込む資金プロジェクトを形成するのだ。「将来は確保された。」とエティハドの CEO ジェームズ・ホーガンはローマで語った。競合各社は、これからイタリア市場での競争が激しくなる事を覚悟しなければならない。

ホーガン氏は「簡単な治療法などあり得ない。」と警告するものの、彼の3年間のリストラ計画は、2017 年末迄にアリタリアが1 億ユーロの黒字を計上すると想定している。同社は 2015 年第 1 四半期には早くもブランドの刷新を行い、赤字の近距離路線から撤退し、複数のイタリアの都市からアブダビへ、そして世界の目的地への長距離路線を開設する。

アブダビ経由便を作って、中国路線が焦点になる可能性がある。また、ホーガン氏はアリタリアにとってスカイチームの価値を評価しているので、同盟に残ることになるだろう。

エティハドの今回のアリタリアへの投資には、アリタリアの FFP の買収や、ロンドン・ヒースロー空港での発着枠の売却とリースバックなどの過去の契約事の有効性も含まれている。アリタリア、エティハドの両社は、路線スケジュールの重複問題や、欧州内に高まる反対論、実効支配問題、そしてこれでアリタリアが本当に救われるのかと言った微妙な問題の詳細に立ち入るのを避けた。問題の幾つかは間もなく明らかになるだろうし、いくつかはまだ時間がかかるだろう、しかしホーガン氏は曖昧さを残していない：「我々のアリタリアへの参入には、出口の戦略は無い。」

[Etihad & Alitalia agree and affirm their partnership vision. Protectionist voices will become louder](#)



エアカナダ、2014 年第 2 四半期の収入好調＝しかし 7%の供給増は利益率を引き下げる可能性も

9-Aug-2014 11:00 PM

エアカナダの 2014 年第 2 四半期の記録的な利益は、利益率が下がることで損なわれて居り、同社は最終利益を改善する戦略を死守するために、区間距離を伸ばし、エコノミー席数の比率を高くしている。

そこにある哲学は、エアカナダは、中期計画の範囲で、燃油費を除いた単位コストを 2012 年の水準から 15%引き下げようとするなど、利益や単位収入向上よりも強力に、単位コストを引き下げる構造を創り出そうと言うものである。

エアカナダのこの戦術を、市場が理解するには暫く時間がかかるかも知れないが、同社の 2014 年第 2 四半期の業績を見ると、長らく出来なかった利益の達成に、この努力は効果を上げている様である。

[Air Canada's favourable top-line 2Q2014 results but 7% capacity growth provokes reduced yields](#)



大韓航空、供給の自己規制を継続=2014 年第 2 四半期の損失を圧縮するために

8-Aug-2014 11:59 PM

大韓航空の財務指標を見ると、旅客輸送量や収入は伸びないが、コストの低下が営業損失を減らし、一方で為替差益が、純利益を上げるほどの大きな改善を齎している。しかし、これらの数字の陰には、中国路線で大きく拡大し、日本路線では大きく減退しているという大韓航空の中核たる事業に起こっている変化が隠れている。

欧州路線では、旅客は戻りつつ有る、一方米州は弱い状況だ、これは、デルタが、国際線の戦略を変えるために、大韓航空を提携相手にしようと、交渉のテーブルに着かせるために仕組んで居る可能性もある。

2014 年第 1 四半期に見られた頼もしい勢いは、第 2 四半期になって、もはや前の四半期ほど鋭いコストの下降が見られず、鈍化して居る。大韓航空は日本路線で巻き返し、中国と米州で拡大を図るだろう。但し中国は、望ましい地点への乗り入れは無理だろうし、米州はデルタが協力的か否かにかかって居る。LCC との競争は、国内で既に激しくなっているが、更なる外国社の参入で、まだまだ続くだろう。

大韓航空は子会社のジンエアに近距離、長距離路線で、広胴機を使わせて、存在感をより大きくしようと狙って居る。但し、アジアナが、現存するエアブサンさえ許せば、ソウルを基地とする新たな LCC を設立したがつて居るため、この先制打も長続きしないかも知れない。

[Korean Air maintains capacity discipline to narrow 2Q2014 loss](#)





ハワイアン航空、長距離路線網で黒字化を狙う=2014 年第 2 四半期

に

8-Aug-2014 7:02 PM

ハワイアン航空はその国際線長距離路線網が 2014 年第 2 四半期に、コーナーを回って、単位レベルで黒字回復出来ると考えて居る。前年の、赤字を出した構図から大きな進歩である。この改善達成の主たる原動力は、ホノルル＝福岡そして台北路線を切るなどの路線網調整と、過去 4 年間に開設した新路線が、漸く成熟して来た事だろう。

また、同時に北米の固い需要環境がハワイアンを助けていて、長距離路線を切って浮いて来た供給力を使って、コナとリフエから米国本土への季節便の運航を再開している。

ハワイアンはまた、2015 年にはやって来ると思われる、フリーキャッシュフローが黒字化した時点で、資本をどの様に配賦するか検討を開始し、自社の事業に関して、その他の改編も行っている。

[Hawaiian Airlines aims to generate positive results in its long-haul network during 2H2014](#)